

国鉄改革完遂！  
当たり前の労働運動  
を前進させよう！  
JR東海労に  
結集しよう！

J R  
東海労

静岡

JR東海労働組合静岡地方本部  
静岡市葵区黒金町68  
TEL 054-284-3608  
発行責任者 山本繁明  
2010年12月18日 No.6

## どうなる？「ATS-P T」

12月17日、地本は乗務員の不安を解消すべく『「ATS-P T」導入に関する申し入れ』を行いました。内容は以下のとおりです。

1. 現時アップ時の要注意箇所、例えば停止位置目標等に注意喚起の看板を新設されたい。
2. 出区点検時及びスイッチ整備にこれまでも確認事項が増えてきたが、更に増えるため相応の時間を付加されたい。
3. 「ブレーキ動作」となった場合、運転事故となる事象を明らかにされたい。

## まだまだあるぞ問題点！！

御殿場線「富士岡駅」「岩波駅」の上りでは、出発信号機停止現示(場内注意)の時、○標が出発信号機手前10～15mにあるため停止する前にパターン接近が点き、上り勾配(25/1000)にあることから、乗務員から「とても10km/h未満での走行は無理！」といわれています。発車後の10km/h未満も「無理!!」であると。会社は乗務員に無理強いするのではなく、システムの改良や特殊扱いを検討すべきではないでしょうか。

3月下旬には、出発合図方式が「ブザー式」になり、そのための規程類の訂正、訓練も続きます。乗務員が不安を抱えたまま、業務をすることの無いように、地本は組合員の目線にたってこれからも取り組んでいきます。

**職場から、声をだして問題点を解決していこう！**